

先週のこと。自転車で登校する途中、ゴミ袋を大変そうに運んでいる高齢者の方（以下 A さん）に出くわし、通り過ぎた後に自転車を止め、A さんが持っていたゴミ袋を捨てに行き、行ってあげた本校 2 年男子生徒がいたのです。

この行為に大変感動・感激した A さんが、付近に住む B さんに、

「『おはようございます』の大きな挨拶をかけてもらえたこともうれしかったの

ですが、挨拶で終わらずに自転車を止めてゴミ袋を預かり、捨てに行ってくれ

たことになお感激した。今どき、こんな中学生がいるのかと」と話されたところ、

この話を聞いた B さんが同じくとても嬉しい思いとなられて、この出来事を手紙にしたため本校に持ってこられるという、心温まる話がありました。

手書きで描かれた地図を含め、3 枚の便箋でした。拝読させていただきましたが、心の温もりを感じずにはいられない内容で、私も胸が熱くなりました。地域の方に見守られ、育てられていることに感謝したいです。

本当にありがとうございます。

この男子生徒が特定できたので、校長室に呼んで本人に当時の話を聞かせてもらいました。ごく自然な感覚で行ったことがよく感じ取れました。本当に素晴らしく、素敵な行いをしたこと、相手の気持ちを幸せにしてあげていたこと、私も見習わなくてはいけないと思ったことなどを会話しました。

また、井波中の良い印象をアピールしてくれたこと、徳を積むことを実行してくれたことも重ねて嬉しかったです。実に気持ちの良いひとときでした。

男子生徒、ありがとう！

「幸福とは、報酬を求めなかった

人々のところへくる報酬なのだ」 （アラン： フランスの哲学者）

いいことをしたら、自分の心も温かくなる。これも幸せの形のひとつと言えます。